

発行所  
 特定医療法人五省会西能病院  
 〒930 富山市五福1130  
 TEL (0764) 41-2481(代)  
 発行人 西能 正一郎

# 五省会ニュース

## 五省

一 至誠に悔るなりしか  
 一言行に恥ぶるなりしか  
 一 氣力に盡るなりしか  
 一 努力に憾みなりしか  
 一 不精に怠るなりしか

## 世紀末に激動の生

### 小説に見る「家族」の現実

兼久 文治

北日本新聞新年号に賞作品は一編。応募作品は六、七百編はあるから大変な競争率。選者に渡す作品を地元選考委員会で選り出すことになる。私はこの賞の創設にたずさわったので、第一回からの候補者から選考メンバーで、現在は宮本輝さんにバトンタッチしたが、入

## 新春随想

北日本新聞新年号に賞作品は一編。応募作品は六、七百編はあるから大変な競争率。選者に渡す作品を地元選考委員会で選り出すことになる。私はこの賞の創設にたずさわったので、第一回からの候補者から選考メンバーで、現在は宮本輝さんにバトンタッチしたが、入



## 新しい年を迎えて

西能 正一郎

一九九八年、新しい年が始まりました。何度新年を迎えても、性懲りもなく、今年こそ良い年でありたいと思うのは人間の宿命でありましょうか。私も、過ぎた年に悔いを残して、縮々とする性格の人間ではありませんが、新しい年が来れば、今

## 自分の力で成せることを一年の計画に

自分達の毎日の生き様は、他人様と関係のあることは極めて

までに果たせなかった事を、一つでも成し遂げたいと、姿勢を正す気持ちになるのであります。殊に昨年後半は、思いもかけない色々な事件が起きました。その事件のいづれもが、天変地異によるものではなくて、人間が引き起こしたことであります。同志である苦の日本人が、どうしてこの様な基本的な正悪の判断さえ出来ないのかと情けない気持ち

かについて考えて見たいと思います。今年も又、新年には、沢山の方がお宮参りに出かけられました。何を詣でられたのでしょうか。天変地異が起らないように、平安を毎日送れるようにお願いに行かれたのでしょうか。或いは、今年はこのように自分を生かすべく毎日過ごしますと、お誓いに行かれたのでしょうか。私は、後者でなければ意味がないと思っております。

問題だった。今の祖母世代が若い嫁だったころだ。原稿はもちろん全部手書き。鉛筆書きもあつたし、なかにはチラシ広告の裏にいっぱい書いた原稿もあつた。ワープロの画一文字でないから、文字や原稿用紙の使い方をみれば、およそどの程度力かが推察できたものだ。

やがて核家族化が作品の上にあられていく。交通事故死やガン死を扱ったものも増えた。少子化とともにしつけや教育問題が顔をだし、みるみるうちに家族の崩壊へとつながる問題が増え出した。夫婦や親子の分裂、離婚、家庭内暴力、家出、不倫、老人のぼけや介護、老人ホーム暮らし。妹は小劇団でAV

しかも同じ家族崩壊でも扱ひ方が変わってきた。初めのころは、そこに至るいきさつや理由を丹念につづつていたが、今は、その後の生活に重点が移った。「そうやってしまったことをクヨクヨ考えるより、これから先の生活が大切」ということだろう。見方によって「前向き」とも「現実的」ともいえる。

そこには昨年初め芥川賞を受けた柳美里の「家族シネマ」の影響も見逃せない。主人公のOLは高校を放校処分になっており、父はギャンブル好き、母は弟を連れて家出シキヤパレーのホステスをしながら愛人のもとに走る。妹は小劇団でAV

に出演したりしている。私はそれらを冷ややかに横目でちらみながらノンシヤラン(無頓着)に生きていく。それは「自堕落」とも「たくましい」ともいえる若い女性の全く新しい家族への姿勢だろう。

正月にふさわしくない話題だったかもしれない。しかし家族の問題ひとつとっても世紀末の激動の時代に入っている。こんな時代の生き方には一つの定型はない。人それぞれが自由に生きればよい。だが、それだけ重く選択と責任が自分にのしかかってくる。一事が万事、自由の厳しさを思い知らされる時代がきている。

(文芸評論家 富山市)

## あすなろ

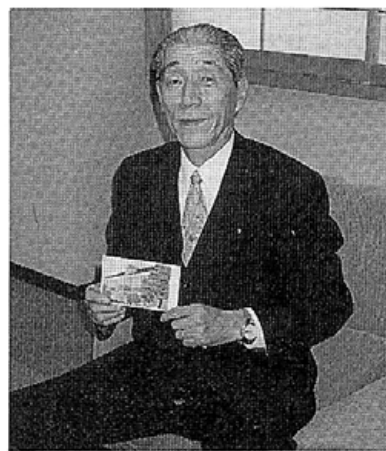
昔は縁起をかつぐ人が多く、お正月や婚礼のよいうなおめでたい席には、使つてはいけない「忌(い)み言葉」というものがあった。「すり鉢を「当たり鉢」、「なし(梨)を「ありの实」、「あし(葎)を「よし」と言い代えたのがその例。婚礼の日は「帰る」、「去る」などが忌み言葉の代表「終わる」もそうで、代わりに「お開きにすま」いい代えたところ。今年にはトラ年だが、トラの日は婚礼の忌み日。「トラは千里行って千里戻る」といわれているので、「この「戻る」がきらわれたらしい。その代わり、旅立ちには吉ということになっている。秘蔵の金品を「トラの子」というのはトラが子供を非常にかわいがるからという▼「トラの子渡し」というのは京都の竜安寺のように、親トラが三匹の子を連れて川を渡るさまにかたどった庭石の配置に名付けられた。ところが次のような中国の故事があることはあまり知られていない。「親トラに三匹の子が生まれたが一匹はヒヨウで他の子を食い殺す恐れがある。そこで川を渡る時、まずヒヨウを負つて向こう岸に渡り、ヒヨウを置いて帰る。次に一子を渡してヒヨウは連れ帰り、今度はヒヨウを残して他の一子を渡す。最後にヒヨウを連れて渡す」という▼どこかのクイズで聞いたような話だが、勇猛なトラの話にしてはユーモアがあつて楽しい。今年もどうかよろしく。

平成十年

特定医療法人 財団五省会

理事長	西能正一郎	常務理事	中永久光	理事	西能 竝	理事	住 博司	理事	中尾 哲雄	理事	堀江 章彦	理事	米田 寿吉	理事	石川 実	監事	寛田 英二	監事	稲垣 忠一	評議員	大上紀美雄	評議員	神沢 幹夫	評議員	河上弥一郎	評議員	西能 綾子	評議員	西能 孜	評議員	坂倉 ナミ	評議員	坂本 重一	評議員	笹山真治郎	評議員	土田 亮一	評議員	森 政雄	評議員	山本 二郎	評議員	鷺山 浩一	評議員	西能病院職員一同
-----	-------	------	------	----	------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	----------





「仕事は人生の基本。趣味の版画を通じて得るもの大きい」

仕事と趣味をバランスよく

私は、人生の基本は、代表取締役社長は父の仕事だと思っています。のあとを継いでも、現在の仕事(第一交易)ですが、お客さんや業界

西能 致

わたしの人生模様

医療法人五省会評議員 西能 致
「仕事は人生の基本。趣味の版画を通じて得るもの大きい」



「歌っていると体の痛みも忘れれます」と平野さん。レパートリーも幅広く50曲以上。=自宅で=

大地を踏み

歌は心の支え—命ある限り続けたい

カラオケレパートリーは五十曲以上、平均十五分の練習は毎日欠かさず。レパートリーも幅広く50曲以上。=自宅で=

見 食 昼

富山市女性団体連絡協議会会長とやま「おんなの哲学」研究会会長 政二 俊子 さん



「体を動かしてから食べるの、おいしい」と政二さん

品数多く、よく噛むを実践
長年、富山の女性達に先頭を立って活躍している政二俊子さん(七十三才、富山県)は、昭和三十二年からは婦人少年室などで女性の地位向上や労働問題に情熱を注いでこられた。出掛けない日は、起きたらお風呂に入って、

いまを生きる

西能正一郎対談シリーズ
「貼る、飲む、注射するの違いは...」

西能病院の正月休みは元旦だけ

西能病院は、昭和六十二年四月から休日診療を行っております。正月は元旦だけ休みですが、二日から診療いたしますので、よろしくお願いたします。

患者さま満足度調査

西能病院では十一月八日から約一カ月間、外来患者さま二千二百人を対象に、アンケートで医療サービス満足度調査を行いました。調査事項は、通院医の総合評価をはじめ、病室スタッフの対応、プライバシーへの配慮、環境整備、待ち時間、診察時間など全五十八項目。

研究者の目④

リードケミカル(株) 代表取締役社長 森 政雄氏
「貼る、飲む、注射するの違いは...」

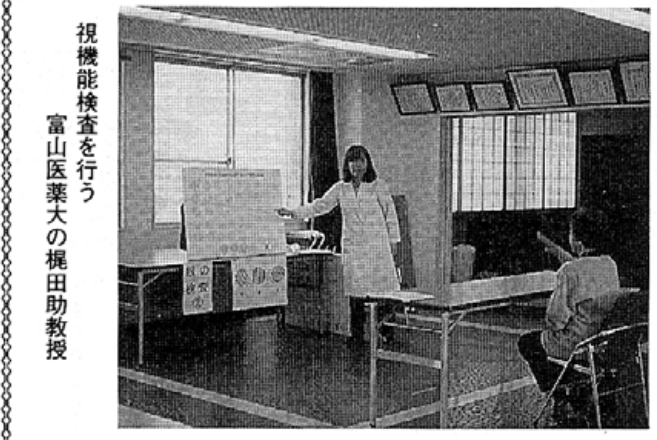


四階談話室に展示された作品と萩ノ脇さん

健康の喜びと感謝の気持ちをこめて

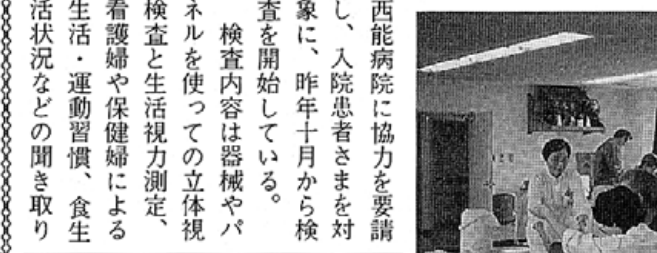
萩ノ脇 喜一郎さんが自作・自筆の詩を西能病院に寄贈

西能病院に、萩ノ脇 喜一郎さん(九〇才)の七言絶句の漢詩が贈られた。作品は家書で書かれており、四階談話室に展示、入院患者さんたちの話題となっている。



骨折と視力の関連を調査中

骨折と視力の関連を調査中
富山医科大学の視力検査を行う



患者さま満足度調査

患者さま満足度調査
西能病院では十一月八日から約一カ月間、外来患者さま二千二百人を対象に、アンケートで医療サービス満足度調査を行いました。

目の働きとエックで転倒予防対策を
富山医科大学医学部看護学科地域看護学講座では、高齢者の転倒予防が骨折事故も防ぎと考へ、昨年、当院の入院患者さま六十人の協力を得て、調査した。今年も検査を継続している。



患者さま満足度調査

患者さま満足度調査
西能病院では十一月八日から約一カ月間、外来患者さま二千二百人を対象に、アンケートで医療サービス満足度調査を行いました。

世界へ羽ばたくリードケミカル 貼り薬が各種疾病の治療薬に

世界へ羽ばたくリードケミカル
貼り薬が各種疾病の治療薬に
森 政雄氏が研究開発した経皮吸収型貼付剤は、ヨーロッパを皮切りに世界各国で承認を得ている。そして今、貼り薬は鎮痛作用だけでなく、高血圧、心臓病などの治療薬に活用されるなど、可能性は広がる一方だ。



